このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。 どうぞ、コーヒータイムのときにでも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (271)

壹 • 卌

散歩から帰ったタモツ君とお父さんが話しています。

「キヘンに神のサカキとかキヘンに佛のシキミとかって、おもしろいね。」

「お兄ちゃん、エミも「亖」という漢字を造ったよ。」と、エミちゃん。

「シという漢字でしょ。」

「どうしてわかったの。」

「一、二、三、三だから。」

「そう。十、廿、卅、卌も。」

「エミ、おじいちゃんにもらった大きな辞書を見ていたら、三も卌も出ていたよ。エミより

も先に、造った人がいたんだよ。」

「エミ、残念でした。」と、お父さん。

確かに、

「1、2、3」=「一、二、三」いう法則だと、 「4」は「四」ではなく「三」になるよね。

というのも、法則性があっておもしろいね。



【編集部注】『新潮日本語漢字辞典』によると、「亖」は「四」の別体として収められ、「卌」は音「シュウ(シフ) (**漢** (**呉**)、訓「しじゅう(しじふ)」として収められています。